

競技及び審判上の注意

- 1 競技は「第36回鹿児島県小学生バドミントン大会兼全九州小学生大会鹿児島県予選会要項」及び公益財団法人日本バドミントン協会の現行競技規則、諸規程に基づき競技を運営、実施します。
- 2 日本バドミントン協会「感染症対策に伴うガイドライン」に沿って対策を行います。
- 3 ユニホームには、その背面にチーム名・氏名の入ったゼッケンを添付してください。
- 4 シャトルは日本バドミントン協会第1種検定合格球「YONEX NEW OFFICIAL」を使用します。
- 5 本大会は、本年度全九州小学生大会の鹿児島県予選会を兼ねており各種目4位までを推薦します。
- 6 試合は、21点1ゲームマッチ、30点までの延長ありとします。ただし、各種目準々決勝から正式ゲームとし3位決定戦も行います。
- 7 各コートに設置した椅子にコーチ1人が着席できます。チェンジエングズの際にはコーチもエンドを替わってください。
- 8 試合順は流し込み方式を基本としますが、タイムテーブルどおりにいかない場合があるので、コールには十分注意してコールがあったら速やかにコートに入ってください。
- 9 コート番号は、ステージに向かって右側前方より1～5コート、左側前方より6～10コートです。
- 10 初回戦に限り3分間の練習時間を設けます。シングルスは対戦相手と、ダブルスは同チームのパートナーと練習します。（練習用シャトルは各自で持参してください。）
- 11 審判について
 - (1) 初回戦は相互審判とします。本部から主審のチームを指示しますので審判用紙を本部へ取りに来てください。各チームから線審を出してください。
 - (2) 2回戦以降は、原則として敗者のチームが主審と線審を、勝者のチームが線審をしてください。審判員が不足する場合は、本部までお知らせください。
 - (3) 審判をできない子供の場合には、そのチームの保護者又は指導者等を審判として出してください。（今回は審判資格の有無は、問いません。）
 - (4) 主審は、次のとおり行うものとします。
 - ア 試合前・試合後に選手及び線審の手・指の消毒を行う。
 - イ 試合開始前に審判用紙とゼッケンで選手名を照合する。
 - ウ 試合終了次第、勝者のサインをもらい本部審判部の確認を受ける。
 - エ 次の試合の審判用紙を受け取り、次の主審に審判用紙を引き継ぐ。
 - オ コートのモップ掛けを行い2階観覧席へ戻る。
- 12 表彰は、各種目とも4位までとします。
- 13 その他
 - (1) 靴箱の利用は禁止です。外履きは各自が持参した袋などに入れ、2階観覧席へ持参してください。
 - (2) 各チームの選手、指導者及び保護者は、当初に指定された応援席からの応援をお願いします。応援は大声を發さず、拍手でお願いします。
 - (3) 主審をされた有資格者は本部へ審判手帳を提出してください。